

2023年度
公益社団法人 日本地すべり学会東北支部
第39回 総会
議案書

開催場所：せんだいメディアテーク 7F スタジオシアター
開催日時：2023年5月12日（金） 14時00分～17時00分

議事次第

1. 開会
2. 支部長挨拶
3. 議事
 - 第一号議案 2022年度事業報告
 - 第二号議案 2022年度収支決算報告及び監査報告
 - 第三号議案 2023年度事業計画（案）
 - 第四号議案 2023年度収支予算（案）
 - 第五号議案 役員改選の件
 - 第六号議案 2024年度研究発表会及び現地見学会の件
 - その他
 - 報告事項ほか
4. 閉会

2023年度講演会（ハイブリッド開催） 15時00分～17時00分
意見交換会（会場：ホテルグランテラス仙台国分町） 18時00分～20時00分

○ 第一号議案 2022 年度事業報告

(1) 支部総会 コロナウイルス感染予防のためハイブリッド開催

出席者 : 大河原支部長、高見副支部長、橋本監事、瀬野幹事長、三嶋副幹事長、渡辺副幹事長、西尾副幹事長、大澤事務局長

参加者 : リモート出席 8名 委任状 92名 計100名

*定足数83名(会員数166名の1/2以上)を満たし総会は成立

- ① 日時 2022年5月13日 15:30~17:00
- ② 場所 株式会社復建技術コンサルタント 会議室
- ③ 議事 第一号議案 2021年度事業報告
第二号議案 2021年度収支決算報告及び監査報告
第三号議案 2022年度事業計画(案)
第四号議案 2022年度収支予算(案)
第五号議案 役員改選の件
第六号議案 東北支部運営規則改定の件
その他・報告事項

(2) 会議等

① 役員会

- ・第1回役員会(2022年1月30日 東北支部事務局会議室・リモート 9名)
支部長人事、2022年度事業計画及び山形県鶴岡市災害に関する協議
- ・第2回役員会(2023年3月10日 東北支部事務局会議室・リモート 10名)
2024年度研究発表会及び現地見学会に関する協議ほか

② 幹事会

- ・第1回幹事会(2022年7月1日 東北支部事務局会議室・リモート 15名)
2022年度事業計画についての協議
(講演会、地すべり現地検討会、斜面変動ワーキング、研修会、栗駒山麓ジオパークとの連携)
- ・第2回幹事会(2022年8月5日 柳淵地すべり現地確認 8名)
地すべり現地検討会開催地の現地確認及び開催方法に関する協議
- ・第3回幹事会(2023年2月24日 東北支部事務局会議室・リモート 6名)
2023年度支部会員向け研修会の実施要領に関する協議
- ・第4回幹事会(2023年3月17日 東北支部事務局会議室・リモート 31名)
*幹事会と合同開催
2022年度事業報告・収支決算報告、2023年度事業計画及び予算(案)ほかの協議
2024年度研究発表会及び現地見学会開催に関する協議

③ 運営委員会

- ・第1回運営委員会(2022年8月3日 東北支部事務局会議室・リモート 21名)
2022年度事業計画及び予算実行に関する協議、
2022・2023年度東北支部体制及び事業実行方針についての協議
- ・第2回運営委員会(2022年12月13日 東北支部事務局会議室・リモート 18名)
2022年度事業実行状況の報告、2023年度事業計画に関する方針説明について
- ・第3回運営委員会(2023年3月17日 東北支部事務局会議室・リモート 31名)

*運営委員会と合同開催

(3) 事業企画委員会

① 講演会 ＊コロナウイルス感染予防のためハイブリッド開催

- ・開催日時：2022 年 7 月 22 日 14：00～16：45
 - ・参加者：対面参加 14 名 リモート参加 105 名 計 119 名
 - ・基調講演 北海道立総合研究機構エネルギー・環境・地質研究所 石丸 聡氏
「北海道の地すべり活動危険度評価と寒冷地特有の緩斜面周辺で発生する斜面崩壊について」
 - ・山形大学名誉教授 八木浩司氏 「斜面防災危険度評価ガイドブック①」
 - ・奥山ボーリング(株) 林一成氏 「斜面防災危険度評価ガイドブック②」
- ＊(公社)土木学会 CPD 認定 2.40 単位

<表彰式>

講演会に先立って、長年東北支部の活動にご尽力された山形大学名誉教授 八木浩司氏に「2022 年度東北支部賞」を授与しました。



② 「斜面変動研究のワーキング」

趣 旨 支部若手会員の技術的交流と育成の場として継続、拡大し、より気軽に参加できるテーマを広く公募して計画する。学会等での発表や投稿を視野に地すべり調査における技術の伝承を図り、支部の会勢拡大に繋げる。今年度はテーマの公募と絞り込みを行う。

(4) 巡検計画委員会

① 2022 年度地すべり現地検討会：山形県最上郡大蔵村「柳淵地すべり」

- 開催日・参加者：2022 年 10 月 7 日 48 名 (3 年ぶりの対面開催)
 - ・テーマ 「大規模地すべり地帯で発生した諸現象から地すべり機構を考える」
 - ・工事施工中の現場視察と 8 班によるグループ討議及び発表、総合討論を実施した。
- ＊(一社)建設コンサルタンツ協会 CPD 認定 5.50 単位

②令和 4 年 8 月豪雨災害における現地調査

- 実施日 9 月 23 日～24 日に山形県飯豊町で実施した (砂防学会東北支部と共催 参加 2 名)。



<現地見学の様子>



<検討会グループ発表>

(5) 広報委員会

① 支部だより第33号の発行（2022年12月20日） 印刷部数235部、発送部数230部

- ・支部ホームページの更新、情報発信
- ・各種事業案内・参加募集、委員会活動報告、支部行事等の掲載など

② 講師派遣

- ・秋田地質調査業協会（秋田県と共催）主催

「令和4年度地質調査研修」（2022年7月29日）

奥山ボーリング（株）藤井 登氏（支部会員）

(6) 関連団体との連携・地域貢献

① 「令和4年8月山形県飯豊町で発生した土砂災害に係る災害調査」

- ・調査日 2022年9月23日～24日
- ・砂防学会東北支部へ参画 参加2名

② 各種団体への後援

- ・（一社）地盤品質判定士会東北支部 被災地見学会（2022年7月28日、11月22日）
- ・（公社）土木学会東北支部 「防災に関するシンポジウム」（2023年1月24日）
- ・（一社）斜面防災対策技術協会東北支部 機関紙「山が動く」へ投稿

宮城豊彦氏：ベトナムにおける斜面災害リスク軽減関連調査企画の意味と困難性

森口周二氏：豪雨による土砂災害の予測・評価技術

西尾克人氏：令和4年8月豪雨に伴う山形県飯豊町土砂災害の緊急調査団報告

第33号

2022.12.20

(公社)日本地すべり学会

東北支部だより

vol.
33

東北支部事務局

〒980-0012

仙台市青葉区錦町1丁目7番25号

株式会社復建技術コンサルタント内

担当:大澤、甲斐 ☎022-262-1234



ご挨拶

東北支部長

大河原 正文

(岩手大学 理工学部
システム創成工学科 准教授)

支部会員の皆様、オブザーバーはじめ関係者の皆様におかれましては益々ご清祥のこととお慶び申し上げます。

2022年を振り返ってみますと、規制は緩和されましたが、まだまだコロナ感染の世界的流行が続く、ウクライナ侵攻や安倍元首相銃撃事件など激動の1年となりました。東北地方では、7月から8月にかけて日本海側の山形県、秋田県、青森県において、いわゆる線状降水帯による豪雨災害が発生しました。地すべりをはじめ斜面を扱う東北支部の使命は益々大きくなっていると感じております。

支部総会は、コロナ感染が続いていることから、昨

年同様、役員による書面決議となりました。来年度も会場開催は難しいかもしれませんが、オンラインなどを活用して支部会員の皆様に参加していただける総会を開催したいと考えております。そのような中、現地検討会を山形県の柳瀬地すべりで開催できたことは朗報となりました。

さて、本年度は5名の大学の先生方に東北支部にご入会いただきました。皆様、卓越した専門能力と類まれな見識をお持ちの方々と、講習・講演会などを通じて支部会員の専門能力のさらなる向上へご支援いただけるものと祈念しております。先生方には、早速、支部運営委員にご就任いただき強力な布陣でスタートを切ることができました。先生方から頂戴した抱負、ご経歴を下記にご紹介いたしますので、是非、ご一読いただければと存じます。東北支部の未来を十分に担っていただける方々と、2018年の支部長就任から5年を迎えた小生にとりましても、これで心置きなくバトンを渡せると考えております。

最後になりますが、今後とも東北支部の活動にご支援賜りますようお願い申し上げます。

○ 第二号議案 2022年度収支決算

(その1)

【収益】				2022年度 予算 b	2022年度 決算 a	増減 a-b	備 考
勘定科目							
大科目	中科目	小科目	細目				
支部収益				740,050	422,000	-318,050	
事業収益				410,000	92,000	-318,000	
		シンポジウム収益		0	0	0	講演会(対面, WEBハイブリット開催)
			参加費	0	0	0	
			意見交換会費	0	0	0	
			会場予約払い戻し	0	0	0	
		現地検討会収益		160,000	92,000	-68,000	日帰り現地開催
			参加費	160,000	92,000	-68,000	2,000×46名
			意見交換会費	0	0	0	
		技術講習会収益		250,000	0	-250,000	実施見送り
			参加費	250,000	0	-250,000	
			意見交換会費	0	0	0	
		出版収益		0	0	0	
			会誌頒布	0	0	0	
			その他の出版	0	0	0	
協賛・寄付				330,000	330,000	0	
		協賛金		330,000	330,000	0	33社×1万(2019年度以前2万)
		寄付金		0	0	0	
		雑収益		0	0	0	
		受取利息		50	0	-50	
		本部助成金		0	0	0	
本部仮払金(下記に内訳を記載)				0	0	0	
当期収益合計(A=支部収益+本部仮払金)				740,050	422,000	-318,050	
【費用】				2022年度 予算 b	2022年度 決算 a	増減 a-b	備 考
勘定科目							
大科目	中科目	小科目	細目				
支部費用				802,000	555,529	-246,471	
事業費				579,000	331,063	-247,937	
		シンポジウム会費		46,000	125,100	79,100	講演会(対面, WEBハイブリット開催)
			印刷製本費	5,000	0	-5,000	
			会場費(会場使用料)	0	0	0	
			会議費(意見交換会含む)	0	10,000	10,000	
			諸謝金	30,000	0	-30,000	
			旅費交通費	0	109,000	109,000	講演者等
			借料(バス・レンタカー代)	0	0	0	
			通信運搬費	5,000	0	-5,000	
			支払手数料	1,000	100	-900	
			消耗品	0	0	0	
			諸会費(CPD認定手数料など)	5,000	6,000	1,000	
			雑費	0	0	0	
		現地検討会費		212,000	9,953	-202,047	日帰り現地開催
			印刷製本費	0	0	0	
			会場費(会場使用料)	0	2,200	2,200	
			会議費(意見交換会含む)	0	0	0	
			諸謝金	0	0	0	
			旅費交通費	50,000	0	-50,000	
			借料(バス・レンタカー代)	0	0	0	
			通信運搬費	5,000	0	-5,000	
			支払手数料	2,000	450	-1,550	
			消耗品	0	0	0	
			諸会費(CPD認定手数料など)	5,000	5,000	0	
			外注費	150,000	0	-150,000	
			支払保険料	0	2,303	2,303	傷害保険
			雑費	0	0	0	

(その2)

技術講習会費	50,000	0	-50,000	実施見送り
印刷製本費	5,000	0	-5,000	
会場費(会場使用料)	0	0	0	
会議費(意見交換会含む)	0	0	0	
諸謝金	30,000	0	-30,000	
旅費交通費	0	0	0	
借料(バス・レンタカー代)	0	0	0	
通信運搬費	0	0	0	
支払手数料	0	0	0	
消耗品	0	0	0	
諸会費(CPD認定手数料など)	15,000	0	-15,000	
外注費	0	0	0	
雑費	0	0	0	
※その他の事業活動(上記の3つ以外)	271,000	196,010	-74,990	2020年度実績 197,508円
印刷製本費	200,000	174,487	-25,513	支部だより印刷費
会場費(会場使用料)	20,000	0	-20,000	社会貢献・緊急調査等の会場費
会議費(意見交換会含む)	0	0	0	
広告宣伝費	0	0	0	
パート・アルバイト代	0	0	0	
諸謝金	0	0	0	
旅費交通費(社会貢献・緊急調査)	20,000	0	-20,000	
借料(バス・レンタカー代)	0	0	0	
通信運搬費	10,000	18,564	8,564	
情報システム費(HP関係など)	0	0	0	
支払手数料	1,000	550	-450	
消耗品	0	0	0	
備品	0	0	0	
外注費	0	0	0	
支払保険料	0	1,180	1,180	緊急調査の傷害保険
諸会費(CPD認定手数料など)	0	0	0	
賞金・賞品(副賞や感謝状など)	20,000	1,229	-18,771	
雑費	0	0	0	
その他	0	0	0	
管理費	223,000	224,466	1,466	2021年度実績 204,684円
給与・手当	0	0	0	
パート給与	0	0	0	
アルバイト給与	0	0	0	
会場費	0	0	0	
会議費	0	0	0	
支部総会費	0	0	0	対面, WEBハイブリット開催
幹事会・運営委員会	0	0	0	対面, WEBハイブリット開催
印刷製本費	5,000	0	-5,000	
旅費交通費	0	0	0	
借料	0	0	0	
通信運搬費	5,000	6,316	1,316	
消耗品(事務用品費)	10,000	16,500	6,500	封筒代
備品	0	0	0	
外注費	200,000	200,000	0	事務委託費
支払手数料	2,000	440	-1,560	
雑費	1,000	1,210	210	残高証明費用
			0	
当期費用合計(B)	802,000	555,529	-246,471	
当期収支差額(C=A-B)	-61,950	-133,529	-71,579	
前期未収入金	0	0	0	
前期未払い金	0	0	0	
当期前払金	0	7,300	7,300	2023年度総会会場費
前期前払金	0	0	0	
前期繰越額(D)	1,230,286	1,230,286	0	
次期繰越額(D+C)	1,168,336	1,089,457	-78,879	

* 2023 年度繰越金 1,230,286 円 - 133,529 円 = 1,089,457 円

監査報告書（東北支部）

2023年4月3日

公益社団法人 日本地すべり学会
会 長 笹原 克夫 殿

監事 炭谷保 

監事 橋本修一 

2022年4月1日から2023年3月31日までの会計及び業務の監査を行い、次の通り報告する。

1 監査の方法の概要

- (1) 会計監査について、帳簿並びに関係書類の閲覧など必要と思われる監査手続を用いて決算書の正確性を検討した。
- (2) 業務監査について、会議等への出席、又は支部長から業務の報告を聴取し、関係書類の閲覧など必要と思われる監査手続を用いて業務執行の妥当性を検討した。

2 監査意見

- (1) 決算書は、会計帳簿の記載金額と一致し、支部の経理の状況を正しく示していると認める。
- (2) 事業報告書の内容は真実であると認める。
- (3) 支部の職務執行に関する不正の行為又は法令もしくは定款に違反する重大な事実はないと認める。

以上

○ 第三号議案 2023年度事業計画

(1) 支部総会・講演会

*対面およびオンラインのハイブリッド開催とする。

- ① 日 時 2023年5月12日 14:00～17:00
- ② 場 所 せんだいメディアテーク 7階スタジオシアター (ハイブリッド開催)

<支部総会>

- ・時 間 14:00～15:00
- ・議 事 第一号議案 2022年度事業報告
第二号議案 2022年度収支決算及び監査報告
第三号議案 2023年度事業計画(案)
第四号議案 2023年度収支予算(案)
第五号議案 役員改選の件
第六号議案 2024年度研究発表会及び現地見学会の件
その他・報告事項

<講演会>

- ・時 間 15:00～17:00
- ・特別講演 「土砂災害対策の現状と今後の課題」
国土交通省東北地方整備局河川部長 板屋英治 氏
「個別要素法による土砂流動・落石シミュレーションの不確実性の定量化」
東北大学災害科学国際研究所准教授 森口周二 氏

<意見交換会>

- ・ホテルグランテラス仙台国分町 18:00～20:00

(2) 東北支部活動

① 役員会

- ・2023年6月、2023年10月、2024年1月に予定、その他協議が必要な場合に随時開催
- ・支部事業の運営及び実施状況等に関する協議等

② 運営委員会

- ・2023年7月、12月、2024年2月に予定、その他協議が必要な場合に随時開催
- ・各種支部事業の計画立案、運営等に関する協議等

③ 幹事会・各委員会

- ・2023年5月、10月、12月に予定
- ・各種事業計画の企画立案、運営

④ 研究発表会開催準備会及び実行委員会・幹事会の立上げ

- ・準備会の立上げ →2023年5月 開催県、開催場所、現地見学会の場所等事業内容の検討
- ・岐阜大会の視察(2023年9月)、実行委員会及び幹事会を編成

(3) 事業企画委員会

① 「斜面変動研究のワーキング」

- ・支部若手会員の技術的交流ならびに育成の場として、広く支部会員の参加を呼びかけ会勢拡大に繋げていく。テーマは公募により絞り込みを行い分科会形式で開催する。

＊テーマ例：地下水、AI 技術や DX の地すべり調査等への活用

- ・分科会ごとに研究、発表などにより議論を深めるとともに、本部事業への積極的な参加や学会誌への寄稿を促す
- ・中堅及び若手会員からの問題提起や事例発表などを題材にした勉強会としても開催する。

② 講演会

- ・2023年5月12日（支部総会後）、7月、11月に開催
- ・運営委員の先生からの基調講演、ワーキングの研究発表等の話題提供
- ・砂防学会東北支部若手会と連携を取りながら共催についても検討

(4) 研修委員会

① 「斜面防災危険度評価ハンドブック」の実践的活用について

- ・2023年4月27日、6月下旬及び9月(予定)に開催
- ・写真判読、数値地図を利用した地すべり地の抽出、危険度評価を実践する。
- ・参加者は会員に求め、次世代のコアとなる支部会員を育成する。

(5) 巡検計画委員会

① 2023年度地すべり現地検討会 「宮城県荒砥沢地すべり」

- ・2023年9月下旬～10月上旬に開催
- ・参加者 支部会員及び協賛企業職員 45名程度

② 東北地方における広域的または重大な災害に対する緊急調査

- ・調査に値する災害情報が提供された場合は、本部「土砂災害緊急調査内規」に準じて調査派遣を検討、実施する。アドバイザーとの連携・情報収集、他学会・協会等と連携を図る。
- ・調査後は報告書にまとめ提出するほか、ホームページなどで会員に広く広報する。

③ 2022年12月に発生した山形県鶴岡市西目地区の土砂災害に関する現地調査

- ・2023年4月23日 支部運営委員及び幹事 15名程度

(6) 広報委員会

① 支部だより第34号の発行（2023年12月の予定）

- ・支部会員、協賛団体への学会活動の情報提供、支部行事、委員会活動の報告

② 支部ホームページの更新、情報発信

- ・支部会員リストを利用した各種事業報告ならびに事業開催案内・参加募集等

③ 会勢拡大活動（アウトリーチ連絡会・会員数対策連絡会と連携）

- ・講師派遣や市民向け勉強会などを通じた支部事業の宣伝活動
→ 学校や自治体の防災教育、技術研修会への講師派遣
- ・「地すべり調査・設計に関する技術講座」の開催立案

(7) 社会貢献・会勢活動・他学協会との連携（各委員会）

- ① 斜面防災のリスクの再認識を促し、コミュニティーの自助・共助の重要性などについての啓蒙・普及・研修に関する活動を計画する。
- ② 各委員会と連携し各種団体への出前講座や出張授業等（アウトリーチ活動）を積極的に推進し宣伝活動を行い、会員数の増加を目指す。
- ③ 協賛団体、関連団体・学会との情報共有を推進する。
 - ・斜面防災対策技術協会東北支部 東北地質調査業協会 砂防学会東北支部 土木学会東北支部 応用地質学会東北支部 地盤工学会東北支部など
 - ・関連協会のシンポジウム、研修会、現地検討会参加等の情報共有を図る。
- ④ 災害調査における連携

○ 第四号議案 2023年度収支予算

(その1)

【収益】				2022年度 予算 b	2023年度 予算 a	増減 a-b	備 考
大科目	中科目	小科目	勘定科目 細目				
支部収益				740,050	1,710,020	969,970	
			事業収益	410,000	1,050,000	640,000	
			シンポジウム収益	0	300,000	300,000	講演会(対面, WEBハイブリット開催)
			参加費	0	0	0	
			意見交換会費	0	300,000	300,000	6,000円/人
			会場予約払い戻し	0	0	0	
			現地検討会収益	160,000	630,000	470,000	現地開催
			参加費	160,000	540,000	380,000	12,000×45名
			意見交換会費	0	90,000	90,000	2,000×45名
			技術講習会収益	250,000	120,000	-130,000	
			参加費	250,000	120,000	-130,000	2,000×20名×3回
			意見交換会費	0	0	0	
			出版収益	0	0	0	
			会誌頒布	0	0	0	
			その他の出版	0	0	0	
			協賛・寄付	330,000	660,000	330,000	
			協賛金	330,000	660,000	330,000	33社×2万
			寄付金	0	0	0	
			雑収益	0	0	0	
			受取利息	50	20	-30	
			本部助成金	0	0	0	
本部仮払金(下記に内訳を記載)				0	0	0	
当期収益合計(A=支部収益+本部仮払金)				740,050	1,710,020	969,970	
【費用】				2022年度 予算 b	2023年度 予算 a	増減 a-b	備 考
大科目	中科目	小科目	勘定科目 細目				
支部費用				802,000	1,852,000	1,050,000	
			事業費	579,000	1,504,000	925,000	
			シンポジウム会費	46,000	354,000	308,000	講演会(対面, WEBハイブリット開催)
			印刷製本費	5,000	0	-5,000	
			会場費(会場使用料)	0	15,000	15,000	
			会議費(意見交換会含む)	0	300,000	300,000	
			諸謝金	30,000	0	-30,000	
			旅費交通費	0	30,000	30,000	
			借料(バス・レンタカー代)	0	0	0	
			通信運搬費	5,000	0	-5,000	
			支払手数料	1,000	0	-1,000	
			消耗品	0	0	0	
			諸会費(CPD認定手数料など)	5,000	9,000	4,000	
			雑費	0	0	0	
			現地検討会費	212,000	732,000	520,000	現地開催
			印刷製本費	0	0	0	
			会場費(会場使用料)	0	20,000	20,000	
			会議費(意見交換会含む)	0	50,000	50,000	
			諸謝金	0	0	0	
			旅費交通費	50,000	550,000	500,000	
			借料(バス・レンタカー代)	0	100,000	100,000	
			通信運搬費	5,000	0	-5,000	
			支払手数料	2,000	2,000	0	
			消耗品	0	0	0	
			諸会費(CPD認定手数料など)	5,000	5,000	0	
			外注費	150,000	0	-150,000	
			支払保険料	0	5,000	5,000	傷害保険
			雑費	0	0	0	

(その2)

技術講習会費		50,000	105,000	55,000	3回開催予定
	印刷製本費	5,000	0	-5,000	
	会場費(会場使用料)	0	15,000	15,000	
	会議費(意見交換会含む)	0	60,000	60,000	
	諸謝金	30,000	0	-30,000	
	旅費交通費	0	30,000	30,000	
	借料(バス・レンタカー代)	0	0	0	
	通信運搬費	0	0	0	
	支払手数料	0	0	0	
	消耗品	0	0	0	
	諸会費(CPD認定手数料など)	15,000	0	-15,000	
	外注費	0	0	0	
	雑費	0	0	0	
※その他の事業活動(上記の3つ以外)		271,000	313,000	42,000	2022年度実績 196,010円
	印刷製本費	200,000	200,000	0	支部だより印刷費
	会場費(会場使用料)	20,000	20,000	0	社会貢献・緊急調査等の会場費
	会議費(意見交換会含む)	0	20,000	20,000	
	広告宣伝費	0	0	0	
	パート・アルバイト代	0	0	0	
	諸謝金	0	0	0	
	旅費交通費(社会貢献・緊急調査)	20,000	30,000	10,000	
	借料(バス・レンタカー代)	0	0	0	
	通信運搬費	10,000	20,000	10,000	支部だより発送費
	情報システム費(HP関係など)	0	0	0	
	支払手数料	1,000	1,000	0	
	消耗品	0	17,000	17,000	封筒代
	備品	0	0	0	
	外注費	0	0	0	
	支払保険料	0	5,000	5,000	緊急調査等の傷害保険
	諸会費(CPD認定手数料など)	0	0	0	
	賞金・賞品(副賞や感謝状など)	20,000	0	-20,000	
	雑費	0	0	0	
	その他	0	0	0	
管理費		223,000	348,000	125,000	2022年度実績 204,684円
	給与・手当	0	0	0	
	パート給与	0	0	0	
	アルバイト給与	0	0	0	
	会場費	0	0	0	
	会議費	0	50,000	50,000	
	支部総会費	0	0	0	講演会と同時開催
	幹事会・運営委員会	0	50,000	50,000	
	印刷製本費	5,000	0	-5,000	
	旅費交通費	0	80,000	80,000	
	借料	0	0	0	
	通信運搬費	5,000	5,000	0	
	消耗品(事務用品費)	10,000	10,000	0	拡声器等
	備品	0	0	0	
	外注費	200,000	200,000	0	事務委託費
	支払手数料	2,000	2,000	0	
	雑費	1,000	1,000	0	残高証明費用
				0	
当期費用合計(B)		802,000	1,852,000	1,050,000	
				0	
当期収支差額(C=A-B)		-61,950	-141,980	-80,030	
前期未収入金		0	0	0	
前期未払い金		0	0	0	
当期前払金		0	0	0	
前期繰越額(D)		1,230,286	1,089,457	-140,829	
次期繰越額(D+C)		1,168,336	947,477	-220,859	

○ 第五号議案 役員改選の件

大河原正文支部長の支部長勇退に伴い、次期支部長 2023 年 3 月 17 日開催の運営委員会において承認を得た。任期は原則 1 期 2 年とするが再任は妨げない。

・支部長：森口周二氏（東北大学災害科学国際研究所 准教授）

○ 第六号議案 2024 年第 63 回研究発表会及び現地見学会の件

- ① 3 月 10 日 本部理事会において、2024 年度の研究発表会を東北支部管内で行うことが決定
- ② 3 月 17 日 東北支部運営・幹事会において、開催県を「宮城県（仙台市）」とすることに決定
- ③ 今後のスケジュール

2023 年 4 月：開催準備会立上げ（会場、日程、実行委員・幹事会案作成ほか）

2023 年 5 月：第 1 回幹事会

2023 年 6 月：第 1 回実行委員会予定

2023 年 9 月：岐阜大会視察及び現地引継ぎ

（幹事会及び実行委員会）

2024 年 9 月：仙台大会開催

2024 年 12 月：各種精算、実行委員会・幹事会の解散

○ その他・報告事項

◆ 協賛金について

今年度の協賛金はコロナ禍も落ち着きを見せ始めたことから、本年度より積極的な事業実施を計画しておりますので、本来の協賛額 **2 万円** とさせていただきたいと思っております。

なお、振り込みのご案内は、総会後に事務局よりご連絡しますので、よろしく願いいたします。総会後より 3 ヶ月以内でのお振り込みをお願いします。また、協賛を頂いた団体・企業については「支部だより」に掲載させていただきます（巻末参照）。また、協賛団体に所属している職員の皆様は、支部会員（正会員）でなくとも各種支部開催事業（シンポジウム、現地検討会など）に参加することができます。

◆ 本部開催事業

- ① 2023 年度（公社）日本地すべり学会社員総会・シンポジウム
 - ・場 所 TKP ガーデンシティ渋谷
 - ・日 程 2023 年 6 月 9 日
- ② （公社）日本地すべり学会第 62 回（2023 年度）研究発表会及び現地見学会
 - ・場 所 岐阜県高山市 高山市民文化会館
 - ・日 程 2023 年 9 月 20 日～22 日
- ③ 土砂災害報告会及び本部開催講習会等

*詳細は未定、随時ホームページで案内

◆ 2023・2024年度代議員選挙結果

2023年2月17日開票の結果、以下の方々が代議員として選出されました。

	氏名	読み	所属機関名
1	池田 浩二	イケダ コウジ	株式会社東北開発コンサルタント
2	石川 晴和	イシカワ ハルハ	株式会社アドバンテクノロジー
3	大澤 宏明	オオサワ ヒロアキ	株式会社復建技術コンサルタント
4	大村 泰	オムラ ヤスシ	奥山ボーリング株式会社
5	三瓶 和法	サンペイ カズノリ	国土防災技術株式会社
6	鄒 青穎	ツォウ チンイン	弘前大学
7	中臺直之	ナカダイ ナオキ	株式会社新東京ジオ・システム
8	山田 知寛	ヤマダ トモヒロ	日本工営株式会社
9	渡辺 修	ワタナベ オサム	合同会社水文企画

◆ 役員・運営委員・顧問・アドバイザー

支 部 長	森 口 周 二	東北大学災害科学国際研究所准教授
副 支 部 長	高 見 智 之	国際航業（株）東北支社技術部長
監 事	渋 谷 保 橋 本 修 一	日特建設（株）東北支店技術フェロー （株）東北開発コンサルタント専門役
運 営 委 員	1 梅 村 順 2 大 月 義 徳 3 鄒 青 穎 4 山 川 優 樹 5 荻 野 俊 寛 6 本 山 功 7 三 辻 和 弥 8 近 藤 敏 光 9 荻 田 茂 10 武 田 茂 典 11 大 賀 政 秀 12 三 嶋 昭 二 13 押 見 和 義 14 渡 辺 修 15 熊 井 直 也 16 工 藤 唯 志 17 大 村 泰	日本大学工学部土木工学科専任講師 東北大学大学院理学研究科助教 弘前大学農学生命科学部地域環境工学科講師 東北大学大学院工学研究科教授 秋田大学大学院理工学研究科准教授 山形大学理学部地球科学分野教授 山形大学工学部建築・デザイン学科教授 国際航業（株）東北統括部国土保全G担当部長 奥山ボーリング（株）技術部長 基礎地盤コンサルタンツ（株）東北支社技師長 （株）ダイヤコンサルタント東北支社社長 応用地質（株）流域・砂防事業部技術参与東北事務所駐在 （株）復建技術コンサルタント技師長 （同）水文企画代表 国土防災技術（株）山形支店長 日本工営（株）仙台支店国土保全部長 奥山ボーリング（株）技術部次長
顧 問	1 盛 合 禧 夫 2 千 葉 則 行 3 檜 垣 大 助 4 宮 城 豊 彦 5 八 木 浩 司 6 井 良 沢 道 也 7 大 河 原 正 文	東北工業大学名誉教授 東北工業大学名誉教授 弘前大学名誉教授 東北学院大学名誉教授 山形大学名誉教授 岩手大学名誉教授 岩手大学理工学部教授
ア ド バ イ ザ ー	1 国土交通省東北地方整備局河川計画課課長 2 国土交通省東北地方整備局新庄河川事務所所長 3 農林水産省東北農政局農村振興部農村環境課地質官 4 林野庁東北森林管理局計画保全部治山課課長 5 東日本高速道路（株）東北支社技術企画課課長 6 東日本旅客鉄道（株）仙台支社工事課課長 7 東北電力（株）再生エネルギーカンパニー水力部水力土木課長 8 熊 谷 茂 一 9 阿 部 真 郎 10 三 上 登 志 男 11 濱 崎 英 作 12 山 科 真 一 13 金 子 和 亮 14 森 一 司 15 八 鍬 健	（一社）斜面防災対策技術協会 東北支部長 奥山ボーリング（株）顧問 （株）復建技術コンサルタント技師長 （株）アドバンテクノロジー社長 国土防災技術（株）常任顧問 日本工営（株）仙台支店次長 （株）システムプランニング技術顧問 （株）日さく仙台支店長

◆ 幹 事

区分	委員会	氏名	所属
幹事長		瀬野孝浩	(株)新東京ジオ・システム
副幹事長	事業企画	渡辺 修	(同)水文企画
	巡検計画	熊井直也	国土防災技術(株)
	広報	大村 泰	奥山ボーリング(株)
	研修	工藤唯志	日本工営(株)
幹事	事業企画	宍戸拓磨	川崎地質(株)
		今井雄輝	応用地質(株)
		高橋康平	国土防災技術(株)
	巡検計画	伊藤靖雄	(株)ダイヤコンサルタント
		石川恵司	(株)日さく
		細谷健介	新和設計(株)
		山本佑介	(株)復建技術コンサルタント
	広報	石川晴和	(株)アドバンテクノロジー
		黒墨秀行	(株)総合土木コンサルタンツ
		池田浩二	(株)東北開発コンサルタント
	研修	中臺直之	(株)新東京ジオ・システム
		小林基比古	日本工営(株)
		西 俊憲	基礎地盤コンサルタンツ(株)
	会計・事務局		大澤宏明

2022年度東北支部協賛団体（33社）

一般社団法人 斜面防災対策技術協会東北支部
株式会社アサノ大成基礎エンジニアリング 東北支社
株式会社アドバンテクノロジー
応用地質株式会社 東北事務所
奥山ボーリング株式会社
川崎地質株式会社 北日本支社
基礎地盤コンサルタント株式会社 東北支社
株式会社計測技研
国際航業株式会社 東北支社
国土防災技術株式会社 東北支社
株式会社新東京ジオ・システム
新和設計株式会社
合同会社水文企画
株式会社総合土木コンサルタント
株式会社測商技研 秋田支店
株式会社ダイヤコンサルタント 東北支社
株式会社地質基礎
中央開発株式会社 東北支店
株式会社テクノ長谷
東光計測株式会社
東邦技術株式会社
東北ボーリング株式会社
土木地質株式会社
日栄地質測量設計株式会社
株式会社日さく 仙台支店
日鉄鉦コンサルタント株式会社 東北支店
日特建設株式会社 東北支店
日本基礎技術株式会社 東北支店
日本工営株式会社 仙台支店
株式会社平野組
株式会社復建技術コンサルタント
株式会社北杜地質センター
ライト工業株式会社 東北総括支店